

# 大飯地域の緊急時モニタリング地点及び一時移転等の実施

修正待ち

➤ 固定観測局については、そこで測定された実測値に基づいて迅速に防護措置を講ずる区域を特定できるよう、原子力災害対策重点区域における全ての一時移転等の実施単位毎に設置されることが必要であり、既に大飯地区では既設モニタリングポストの値に基づき一時移転等を実施する範囲を関連付けている福井県、京都府及び滋賀県については、既設モニタリングポストの全てについて非常用発電機等が設置されることとなっているほか、既設モニタリングポストの故障等に備え、可搬型モニタリングポスト等を保有している。

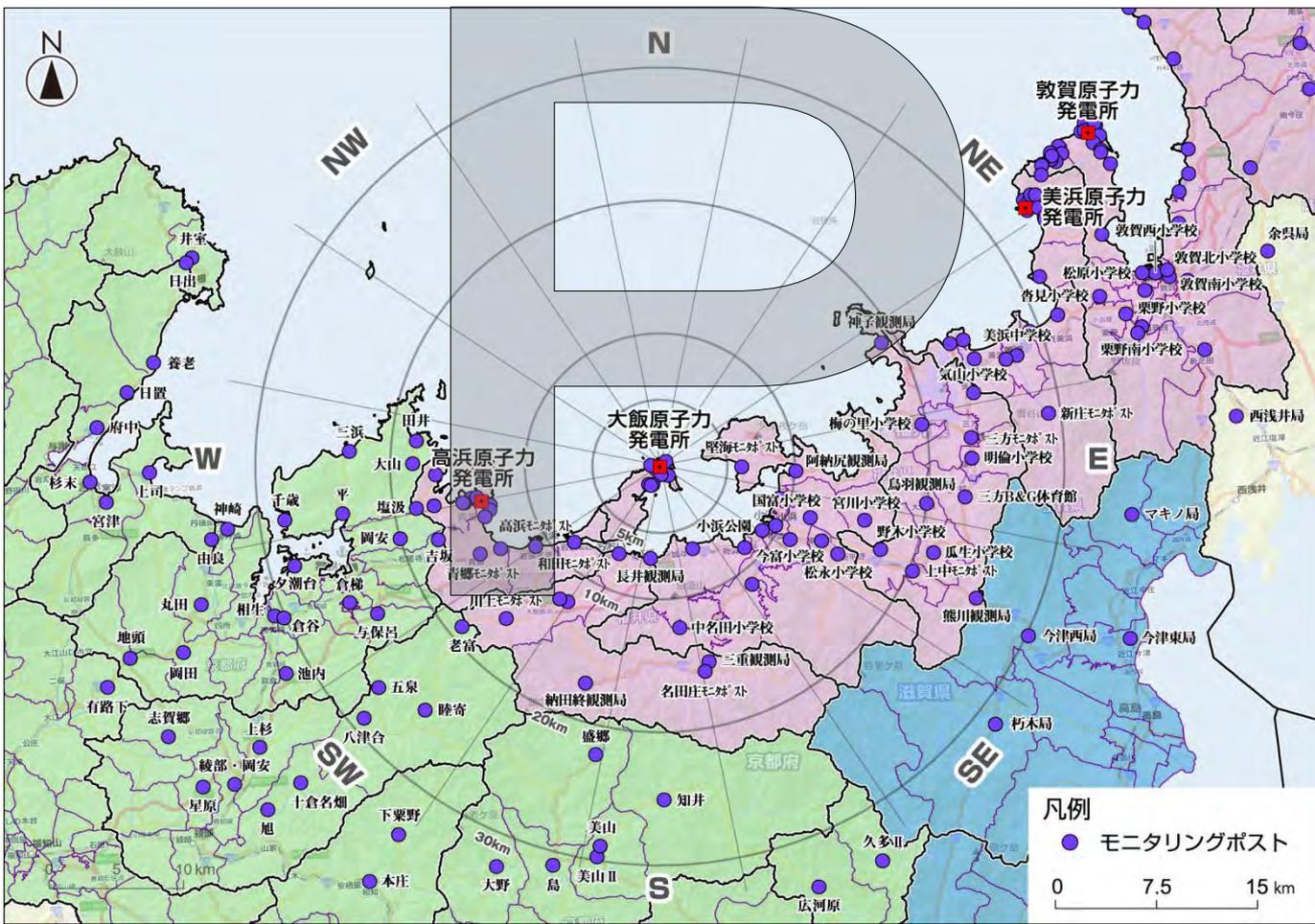


図 大飯地区における緊急時モニタリング体制と一時移転等の実施単位

- モニタリングポスト
  - ・モニタリングポスト等(計6台)で、周辺監視区域境界付近の放射線量等を測定
    - ※電源等の喪失が発生しても測定や伝送が中断しないよう、非常用電源や通信回線の強化を実施
  - ・万一、モニタリングポスト等が使えなくなった場合に備え、可搬型モニタリングポストを別途配備(6台)
- 可搬型モニタリングポスト
  - ・施設敷地緊急事態が発生した場合、可搬型モニタリングポストを設置して、原子炉格納施設を囲む8方位(モニタリングポスト等の代替用6台を含む10台)の放射線量を測定
- モニタリングカー
  - ・放射線量、放射性物質濃度を測定する測定装置や機材を搭載したモニタリングカー(2台\*)を配備
- 可搬型放射線計測装置
  - ・発電所及びその周辺の放射線量等を測定
- オフサイトの協力
  - ・緊急時モニタリングセンターに必要な人員を派遣するほか、状況に応じて可搬型モニタリングポスト等の資機材を活用して、オフサイトの緊急時モニタリングに協力



モニタリングポスト等【6台】



可搬型モニタリングポスト【10台】  
(衛星系回線による通信機能付)



モニタリングカー【2台\*】 \* : 1台は高浜と共用



可搬式ダストサンプラ



ZnSシンチレーション  
サーベイメータ



β線サーベイメータ



(サーベイメータ類)

# 9. 原子力災害時の医療の実施体制 (安定ヨウ素剤・避難退域時検査・簡易除染を含む)

- 福井県では、PAZ内住民を対象に昨年より説明会を実施。今後も説明会を実施し、配布を行う。
- 乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤の配布に向けて準備中。



地区	住民数 (人) (3歳以上の 住民を対 象)	配布者 数 (人)
おおい町大島 <small>おぼまし うちとみ</small>	736	604
小浜市内外海	260	250

※対象住民数  
福井県：平成27年10月現在

※配布者数  
福井県：平成28年2月現在

# 福井県における避難住民等に対する安定ヨウ素剤の備蓄状況と緊急配布

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、福井県は計14箇所の施設に合計379,000丸の丸剤と6,000gの粉末剤を備蓄。
- 緊急配布は備蓄先より一時集合場所等に設置する緊急配布場所に搬送の上、対象住民等に順次配布・調製を実施。
- 乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤の備蓄及び配布に向けて準備中。
- 原子力、福井県から要請があった場合は可能な範囲で備蓄している安定ヨウ素剤を貸与

## <福井県における安定ヨウ素剤の備蓄場所>



安定ヨウ素剤備蓄場所

福井県：14箇所

県及び市町職員により、安定ヨウ素剤の搬送を実施

安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

一時集合場所等  
(計40箇所)

おおい町：4箇所  
おおい町  
小浜市：17箇所  
たかはまちょう  
高浜町：5箇所  
わかさちょう  
若狭町：4箇所  
みはまちょう  
美浜町：10箇所

※上記12箇所の他、嶺南振興局二州健康福祉センター(敦賀市)、丹南健康福祉センター(鯖江市)、奥越健康福祉センター(大野市)に備蓄